

「川崎市成人の日を祝うつどい（成人式）」のアンケート調査等結果について

1 調査の目的

本市では、毎年1月の第2月曜日（成人の日）に合わせて、「川崎市成人の日を祝うつどい」を開催しています。

民法の改正に伴い、令和4年4月以降成年年齢が20歳から18歳に引き下げられるため、今後の開催にあたり、当事者や協力団体関係者等の意見を聴取することを目的として本調査を実施しました。

2 調査の対象

<当事者等> ※アンケート

- ①市立中学校3年生・高校1・2年生
- ②保護者（PTA）

<協力団体等関係者> ※アンケート及びヒアリング

- ①青少年関係団体（子ども会連盟、日本ボーイスカウト川崎地区協議会、ガールスカウト川崎市連絡会、川崎海洋少年団、川崎市青少年指導員連絡協議会）
- ②成人式サポーターグループ、成人式企画実施委員
- ③協賛企業（全18団体）

3 調査の時期

令和元年8月から10月

4 調査の結果概要

<「川崎市成人の日を祝うつどい（成人式）」の対象年齢について>

- 調査対象者全体の約85%が、現行のままの「20歳」と回答している。
- 当事者である中高生も約85%が、現行のままの「20歳」と回答している。

【20歳とする理由】

- ・18歳は受験の直前又は受験と重なる時期や就職の準備がある時期で、子どもの負担だから。
- ・20歳未満の者による飲酒や喫煙がこれまでどおり禁止されるから。
- ・60年以上続いている式を18歳に引き下げるというイメージが湧かない。
- ・「20歳」は「大人」となるというイメージがあるので、20歳の開催でよい。

【18歳とする理由】

- ・成年年齢となる18歳で成年としての自覚や責任を持つ必要があるから。
- ・法律で成年年齢が18歳に引き下げられるから。
- ・選挙権も18歳になったので、「大人」としての自覚を持たせるため。
- ・民法改正により成人が18歳になるという機会であるから。

<「川崎市成人の日を祝うつどい（成人式）」の開催時期について>

- 調査対象者全体の約75%が、現行のままの「1月（成人の日）」と回答している。
- 次いで約17%が、「3月」と回答している。